**小学生(低)礼拝8月①**

**神様を信じて行動しよう（ノアの箱舟）**

今日は聖書にある、ノアの箱舟のお話をしながら、神様を信じて行動することの大切さについて考えましょう。

前のお話では、カインとアベルが仲良く出来なかったので神様の国をつくれなかったというお話をしましたね。それから長いあいだ、人間の悪い心は無くなりませんでした。

神様を忘れてしまった人間は悪いことばっかりをしました。そして、神様はとっても悲しまれました。どんなに、神様が、喧嘩や争いをやめてほしいと願っても、誰も神様の言葉を聞きません。

とても悲しまれた神様は、ついに、「わたしが創造した人を地のおもてからぬぐい去ろう。人も獣も、這うものも、空の鳥までも。私はこれらを造ったことを悔いる」といわれました。

神様は、たくさんの雨を降らせて、すべての人間を滅ぼすことを決めたのです。

しかし、「ノア」だけは、神様のことを信じているよい心を持っていました。

そこで、神様はノアに「あなたはこれから大きな船を作りなさい」と言われました。

神様はノアに、箱舟の大きさも細かく指示されました。それはそれは大きな舟でした。

さらに、神様はノアに山の上に作りなさいと言われました。みんなの知っている船はどこにありますか？海や川のそばにあるよね。だけど、神様は山の上に作りなさいと言ったのです。

普通なら、「そんな馬鹿な」って思ってしまいます。でも、ノアは、神様の言葉を信じて、ひたすら、山の上に船を造り続けました。

周りの人たちは、「山の上に船を作るなんておかしいんじゃないの」と、みんなでノアのことをバカにします。でも、ノアは、船づくりをやめませんでした。なぜなら、神様との約束だったからです。

そして、ノアは１００年以上もかかって箱舟を作りました。アダムとエバは神様との約束を守りませんでした。でも、ノアは神様との約束を守り抜いたのです。どんなに人々に馬鹿にされても、ノアは、神様だけを信じて、愛して、約束を守ったのです。神様はどれほどうれしかったでしょうか。

ノアは完成した箱舟に、たくさんの動物を載せました。これも神様との約束でした。

そして、最後、ノアの家族が、箱舟に乗り込みました。

すると・・・

たくさんの雨が降り始めました。その雨は、40日振り続けました。たくさんの雨が集まって大きな水溜りができました。水たまりは、川のようになり、湖のようになり、最後には海のようになりました。箱舟に乗らなかった人は、全部流されてしまいました。箱舟にのった、動物とノアの家族は、助かったのです。

雨が止んで箱舟から出たノアは、神様に感謝の気持ちを捧げ、礼拝とお祈りをしました。すると、神様は二度と生きたものを殺さないと約束をしました。そして、空にきれいな虹がかかったのです。

聖書にはこのように書いてあります。

「わたしはあなたがた及びあなたがたの後の子孫と契約をたてる…わたしがあなたがたとたてる契約により、すべての肉なる者は、もはや洪水によって滅ぼされることはなく、また地を滅ぼす洪水は、再び起こらないだろう」

ここでいう契約というのは、もう、地を滅ぼすような洪水をおこさない、ということです。

その契約のしるしとして、きれいな虹を空にかけたのです。

みなさんもノアの様に

神様を信じ、神様の言うことをまもれるようになりましょう。